

XI

災害発生の場合

- 1 防災の心得
- 2 安否確認システム
- 3 キャンパス周辺の
ハザードマップ
- 4 学内避難マップ

1 防災の心得

災害は、何時何処で、身に降りかかってくるか分かりません。日頃から防災に対する意識を持ち、行動するように心掛けてください。

大学の内外を問わず、災害に遭った場合には、直ぐに大学へ連絡してください。万一来て備えて、スマートフォンや携帯電話に緊急時の本学問合せ先（p.33、34）を登録しましょう。休日・夜間等は、次の各キャンパスの守衛室・警備員室に連絡してください。

	担当	場所	連絡先
五福	警備員室	五福 正門横	076-445-6110
杉谷	守衛室	病院入口横	076-434-7734
高岡	警備員室	高岡 A棟	0766-25-9111

キャンパス内で災害が発生した場合の避難場所

五福キャンパス	グラウンド1及びグラウンド2、五福公園グラウンド
杉谷キャンパス	陸上競技場、テニスコート
高岡キャンパス	多目的グラウンド
五艘地区(附属学校)	運動場
寺町地区(学寮等)	自然観察実習センター、国際交流会館広場

平常時から心掛けることは？

- ① 防火、防災訓練に参加し、防災意識を保持する。
- ② 火気元栓・電源、消火器、消火栓の位置を確認する。
- ③ 棚、器具、ボンベ等の転倒防止の措置をする。
- ④ 避難路になる廊下や階段に物品等を置かないようにする。
- ⑤ 周辺の建物、危険物等の地理的環境を把握する。
- ⑥ 避難路（誘導灯）、非常口、避難場所の位置を確認する。
- ⑦ 常に、危険物、可燃物を整理整頓して保管する。
- ⑧ 路上等の駐車禁止区域に駐車をしない。
- ⑨ ラジオ、懐中電灯、卓上コンロ、水（1人1日約3リットル）、非常食、衣類、食器類、タオル、軍手、救急薬品等の非常用持出品を備えておく。



もし災害が発生したときは!

火災の時は?

- ① 大声で「〇〇〇が火事だ!!」と連呼する。
- ② 消火器で初期消火にあたる。(※ 出火から3分以内が初期消火の限度!)
- ③ 火災報知器のボタンを押し、ベルを鳴らす。
- ④ 消防署(119)に連絡する。
- ⑤ 火が天井に燃え広がったときには、消火をあきらめて避難する。
 - ・ 服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難する。
 - ・ 一度逃げたら、絶対に戻らない。
 - ・ エレベーターを使用しない。
 - ・ 姿勢はできるだけ低くする。
 - ・ 濡らしたタオルやハンカチ等で口や鼻を覆う。
- ⑥ 防火シャッターや防火扉が閉じたときには、併設のドアを開いて避難する。

風水害の時は?

- ① テレビ、ラジオ等により、いち早く正確な情報を知る。
- ② 避難方法等については、その場の責任者等の指示に従う。

地震の時は?

- ① 使用中の火気、危険薬品等を処置し、火気の元栓を閉め、電源を切る。出火した場合には、初期消火に努める。
- ② 机、テーブル等の下に身を伏せ、落下物から身を守る。
- ③ 避難用にドアを開け、出口を確保する。
- ④ エレベーターの中にいる時は、全ての階のボタンを押し、近い階に降りる。ドアが開かない時には、脱出口から出ないで救助を待つ。
- ⑤ 建物の高層階は揺れが大きいので、直ぐに窓際から離れ、柱や手すり等にしがみつくといい。
- ⑥ 建物の外にいる場合は、鞆等で頭を保護し、近くの公園等に避難する。建物の中にいる場合でも、同様に頭を保護し、ガラス等から遠ざかり、冷静に係員の指示に従う。
- ⑦ 車を運転中の場合は、徐々に速度を落とし、道路左側に車を寄せてエンジンを切る。揺れが収まるまで車外に出ず、ラジオで情報を得る。車を離れる場合には、キーを付けたままにし、ドアをロックしない。
- ⑧ 津波の恐れがあるときは、直ぐに避難する。

2 安否確認システム

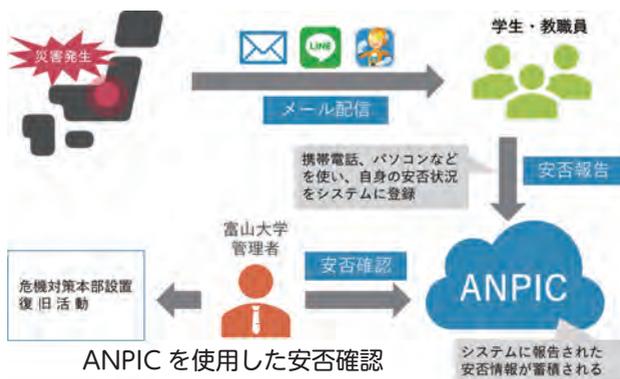


近年、日本各地で地震をはじめとする自然災害が多発する背景を受け、本学では、大規模災害等の危機発生時に、学生の安否確認を迅速かつ確実に実施するため、「富山大学安否情報システム（ANPIC）」を導入しました。

ANPICは気象庁が提供する地震情報を自動取得し、**富山県内で「震度6弱」以上の地震が発生した場合に**、あらかじめ登録されたメールアドレス（もしくはスマートフォンアプリ又はLINE）に安否確認メールを自動送信し、受信者が入力した安否情報を大学のシステム管理者が随時確認できる仕組みとなっています（上記以外の災害発生時等には、必要に応じて大学のシステム管理者が手動でメールを配信します）。

安否確認メールを受信した際は、メール本文に記載のウェブサイトにアクセスし、安否状況を報告してください。

ANPICの利用に際し、大学発行メールアドレスに登録依頼メールが届くので、登録を行ってください。スマートフォン等を持っている学生はアプリやLINEで通知や報告を行える設定にしてください。従来型携帯電話等の場合は、携帯用のメールアドレスを追加してください。



※本システムを活用して、安否確認訓練や学生向けの重要なお知らせ、アンケート調査等を行う場合があります。

ANPICの登録方法・各種操作ガイド

<https://www.u-toyama.ac.jp/news/2019/0612.html>

初期登録サイト

<https://anpic-u-toyama.jecc.jp/u-toyama/regist/>

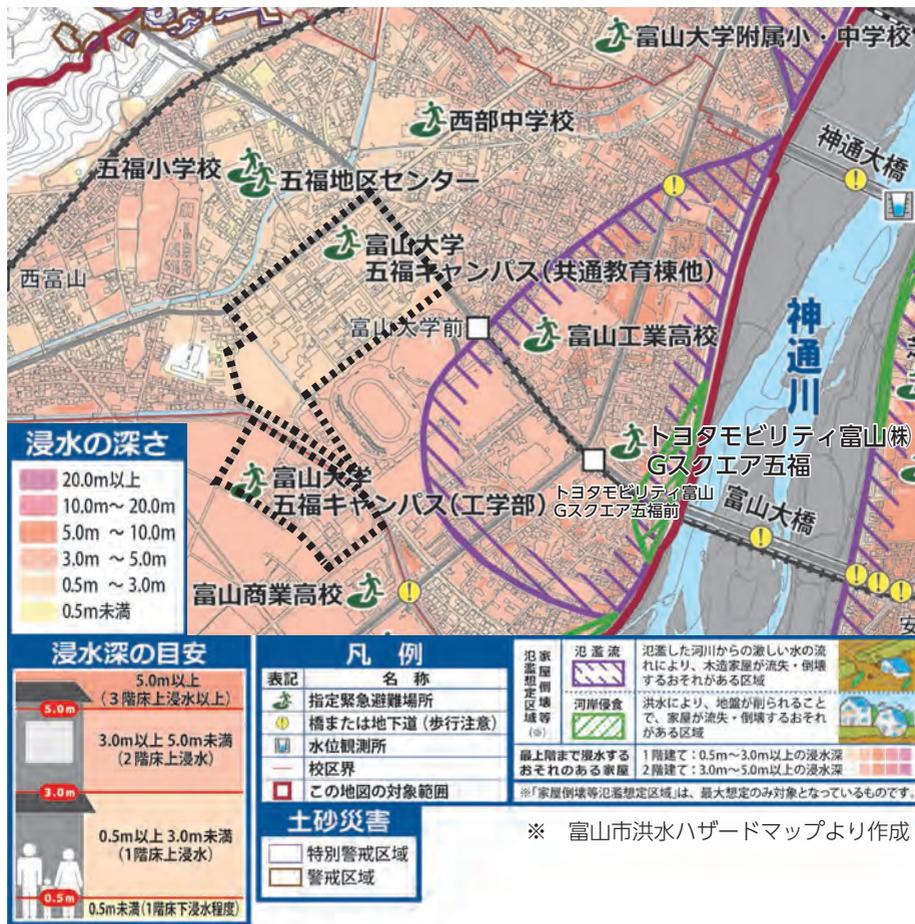
安否報告（ログイン）サイト

<https://anpic-u-toyama.jecc.jp/u-toyama/login/>



3 キャンパス周辺のハザードマップ

(1) 富山市洪水ハザードマップ



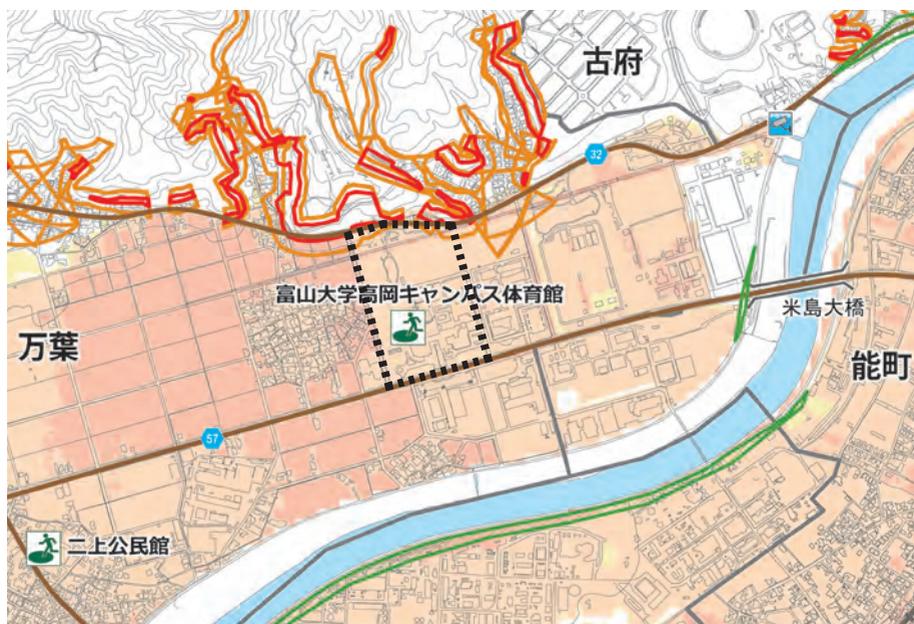
※ 富山市洪水ハザードマップより作成

浸水想定	0 m	新樹寮
	0.5 ~ 3.0 m (1 階床上浸水)	黒田講堂、国際機構棟、共通教育棟、学生会館、人間発達科学部、第1・2 体育館、武道場、職員会館、プール、大学食堂、中央図書館、人文学部、理学部、総合情報基盤センター、経済学部、AZAMI、事務局、テニスコート、グラウンド1、国際交流会館、附属小学校、附属中学校
	3.0 ~ 5.0 m (2 階床上浸水)	工学部、都市デザイン学部、学生支援施設、第3 体育館、グラウンド2、附属幼稚園、附属特別支援学校、附属学校運動場、五福公園 (グラウンド、駐車場)、富山商業高校、富山工業高校

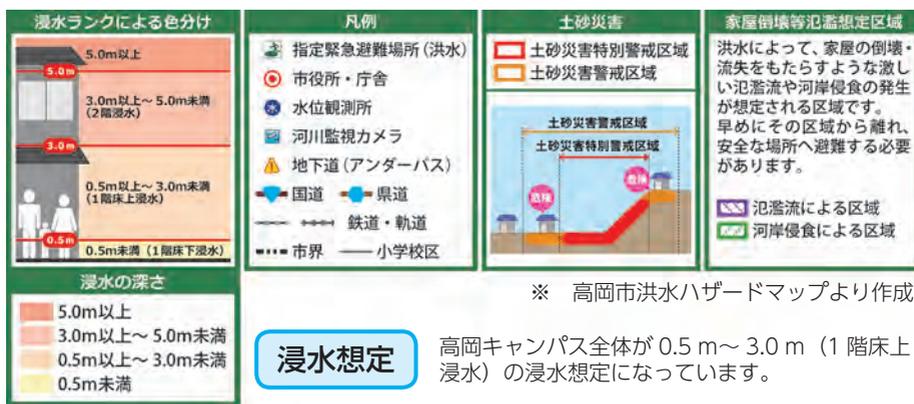
富山大学 五福キャンパス (共通教育棟、経済学部講義棟・演習棟、総合教育研究棟 (工学系)) が指定緊急避難場所となっています。

災害発生の場合

(2) 高岡市洪水ハザードマップ



このマップは、国土交通省富山河川国道事務所及び富山県が作成した、小矢部川水系及び庄川水系の洪水浸水想定区域図を基に、全ての河川がはん濫した場合に浸水が想定される区域と、その浸水深の最大値を表示しています。なお、マップに示した浸水区域以外でも、雨の降り方などによっては浸水することもありますので、ご注意ください。



高岡キャンパス体育館が指定緊急避難場所となっています。

4 学内避難マップ

(1) 五福キャンパス

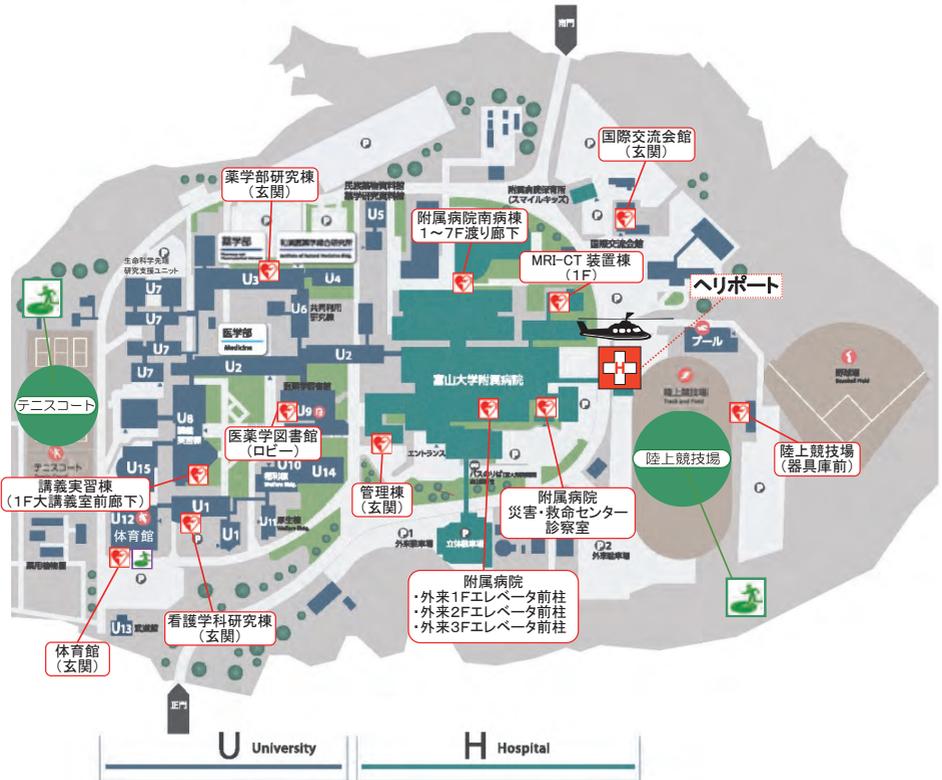
〒930-8555 富山市五福3190番地 076-445-6011 (代表)



災害発生の場合

(2) 杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷2630番地 076-434-2281 (代表)



- AED 設置箇所
- キャンパス内で災害が発生した場合の避難場所
- 富山市第3次避難所

U 大学	H 附属病院	
U1 看護学科研究棟 (玄関)	H 南病棟 1~7F 渡り廊下	管理棟 (玄関)
U3 薬学部研究棟 (玄関)	H 外来 1F エレベータ前柱	テニスコート
U8 講義実習棟 (1F大講義室前廊下)	H 外来 2F エレベータ前柱	陸上競技場 (器具庫前)
U9 医薬学図書館 (ロビー)	H 外来 3F エレベータ前柱	国際交流会館 (玄関)
U12 体育館 (玄関)	H 災害・救命センター診察室	
	H MRI-CT 装置棟 (1F)	

災害発生の場合

(3) 高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町180番地 0766-25-9111 (代表)



- AED 設置箇所
- キャンパス内で災害が発生した場合の避難場所
- 高岡市指定緊急避難場所

- A棟1F 学務チーム横エントランスホール
- D棟1F 共通実習室(133)前廊下
- G棟体育館

- 多目的グラウンド
- 体育器具庫

(4) 五艘地区

〒930-8556 富山市五艘1300番地 076-445-2801 (代表)



(5) 寺町地区

① 国際交流会館

〒930-0873 富山市金谷字神田5037-2 076-431-1941 (代表)

② 新樹寮

〒930-0874 富山市寺町2639-1 076-431-1662 (代表)



AEDについては、次のウェブサイトを参照してください。

総務省消防庁>刊行物>救急お役立ちポータルサイト>一般市民向け応急手当 WEB 講習
<https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/pages/itiren/itiren.html>

